福井県医療生活協同組合　福井市・病院ブロック主催

12/26

第 14 回食料無料支援 88 名来場

～ 健康チェック・何でも相談も実施 ～

第 14 回の食料無料支援プロジェクトは、年末支援として毎年恒例となった「つきたて餅」を含めた食品を準備し、12 月 26 日（火）午後に県社会福祉センター体育館で開催しました。毎回お世話になっている福井市のフードドライブ事業より、市環境政策課、ハーツ学園の 12 月回収品をご提供いただき、その他にも市に届けられた JA からのお米、アフラック福井支社の備蓄食品など他団体・企業からの品と、農家さんの野菜、組合員さんや地域の方からの食品、日用品、古着など善意の品が数多く集まりました。不足分を買い足し、前日品が揃いました。

ハーツ学園 中村副店長

当日 8 時半より会場の体育館に運び込み、ボランティアさんと職員とで急いで袋詰めを実施。古着や日用品、野菜は選んでいただけるよう、またみんなにお配りするお米とお餅は机に並べます。

午後 1 時半お渡し開始予定のところ、11 時頃よりポツポツ来場者が…。ロビーでお待ちいただき、待っておられる方には光陽訪問看護ステーションや光陽生協病院などのたくさんの看護師が、看護師や看護学生の処遇改善署名を集めに来て訴えました。打ち合わせを済ませ、やや早めに受付を開始。

昨年から、年末支援時には、ご自分の健康に目を向けていただく機会となるように「健康チェック」を実施しており、職員による血圧、体脂肪、握力、血管年齢、骨密度を測定。食品お渡し前に実施初めは嫌がっておられた方も、測定すると 「若い時はもっと握力あったのに、年取ったんやな～」など数値からご自分を振り返っておられ、少しは関心を持っていただく機会になったようでした。健康チェックは来場者 95 名のうちの 72 名が受けられました。

血圧測定

体脂肪・握力測定

血管年齢測定

骨密度測定

また、ケアマネージャーや社会福祉士が、生活に関する相談も受け、3 名の方が立ち寄り悩みを相談されました。相談に立ち寄らなくても、「1 日 1 食や」「暖房なしで過ごしている」など、健康チェックの会話で切実な暮らしの実態が垣間見え、冬を乗り切れるのか心配な方が数名おられました。

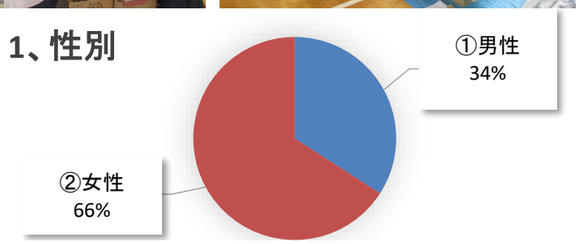
継続してきた食料支援ですが、つかんだ実情を自治体に届けるまでには至っておらず、公的支援につながるような今後のあり方を掘り下げて考えていかなくてはなりません。

来場者の属性

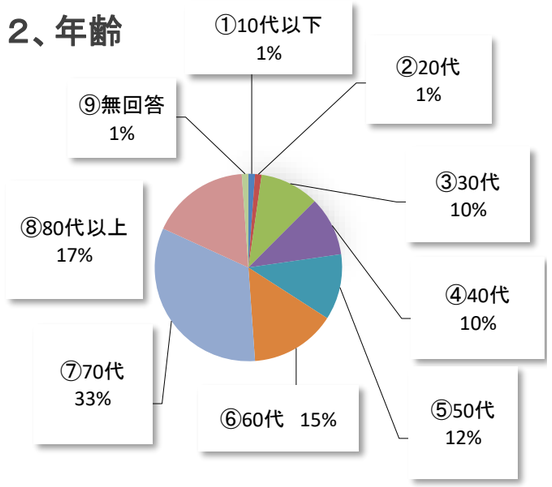
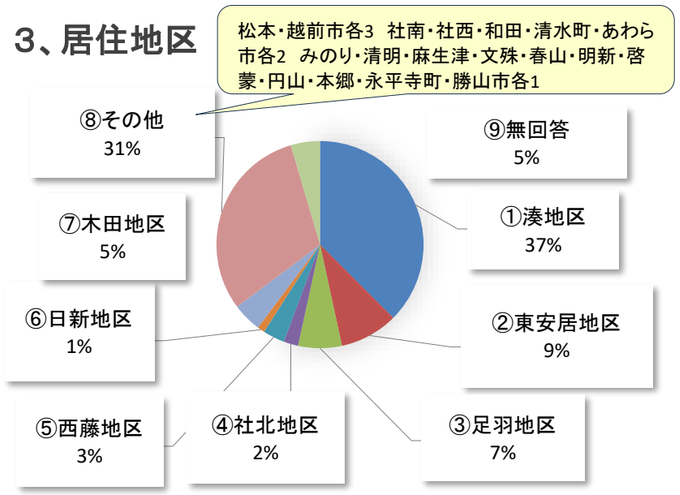
全来場者　95 名　うち把握できた方 88 名

（その中の 16 名は別の階のシングルマザー向け研修参加者）

1、性別



2、年齢



3、居住地区